

研 究 テ ー マ	介護保険制度下における訪問看護サービスの質の評価・向上に関する研究 介護保険制度下における訪問看護サービスの質の評価・向上に関する研究
研 究 目 的	訪問看護ステーション(以下、ステーションとする)の質向上のために、訪問看護ステーションの第三者評価方法を研究的に構築することを目的とした
研 究 方 法	以下の6点について調査、分析、検討を加えた 1)ステーションにおける評価の実態、2)ステーションの評価基準・システム、苦情処理システムについて文献検討、3)ステーションの評価基準の作成、4)訪問看護の outcome についての検討、5)ステーションの第三者評価システムの検討、6)作成した評価基準・評価システムにもとづく第三者評価を実施と信頼性・実用性の検討
結 果 及 び 考 察	以下の5点の結果が示され、それぞれに今後の課題が残された 1)ステーションの質評価の実態、2)国内外の訪問看護評価基準および評価システム、3)信頼性と実用性のある第三者評価基準の作成、4)質を評価のための outcome 指標、5)第三者評価システムの構築
研 究 助 成 金 名	平成11年度 厚生省老人保健事業推進費等補助金事業

研 究 テ ー マ	介護保険制度下における訪問看護サービスの質の評価・向上に関する研究 訪問看護における事故対応指針作成のための研究
研 究 目 的	訪問看護ステーション従事者の過失等による損害賠償事故等を予防するための対策、および万一事故が発生した場合の事故対応策を検討することを目的とした
研 究 方 法	以下、4点について調査、分析、検討を行った 1) 主な訪問看護業務について業務手順を整理 2) 訪問看護ステーションにおける利用者に対する事故予防対策、事故対応策の実態および具体的な事故発生内容などに関する調査 3) 1)と 2)を踏まえてリスクマネジメント手法に基づき、事故予防対策・緊急時対応策・事故解決策の検討
結 果 及 び 考 察	1. 以下2点の結果が得られた 1) 事故防止マニュアルや事故対応マニュアルの作成、スタッフへの教育など必要な対策を実施できているステーションの割合は非常に低く、その背景として、マニュアルの必要性は認識しているが、日常業務に負われている、マニュアル作成のノウハウが不足しているなどの状況があった 2) 一訪問看護ステーションあたりの平均事故発生件数は 0.38 件、ヒヤリハットの平均発生件数は 1.14 件であった 2. リスクマネジメント手法に基づき、訪問看護ステーションにおける事故予防対策・緊急時対応策・事故解決策を検討および要点を解説した
研 究 助 成 金 名	平成11年度 厚生省老人保健事業推進費等補助金事業

研 究 テ ー マ	介護保険制度下における訪問看護サービスの質の評価・向上に関する研究 訪問看護サービスの質の評価に関する研究
研 究 目 的	看護ケアのプロセスの評価基準、特に、褥瘡に対するケアのプロセスの評価基準を明らかにし、看護ケアのプロセスの評価基準を追求することを目的とした
研 究 方 法	中国・近畿・中部地方の訪問看護ステーションを対象に調査票を配布し、成人で「褥瘡」を有している、またはハイリスク状態にある利用者に対して訪問を行った看護師に回答を依頼した 調査内容は褥瘡評価尺度(ブレードンスケール PSST)を基にしたアセスメント用紙を用いて、褥瘡の経過を把握し、回答は量的に分析した
結 果 及 び 考 察	訪問看護ステーション看護師から協力が得られた利用者に関するデータから以下のことが示唆された 1. 患者の栄養の不適切さ、看護師のパート勤務や患者把握の不適切さが褥瘡の経過に影響する要因であった。 2. 訪問看護サービスの質評価が、特に褥瘡のケアを通して、明らかになった 同時に、その経営母体によって非常に看護サービスの質評価が施設間で、格差が大きいことがわかった 3. 研究結果の一部を、日本社会・政策学会において発表した
研 究 助 成 金 名	平成11年度 厚生省老人保健事業推進費等補助金事業

研 究 テ ー マ	介護保険制度下における訪問看護サービスの質の評価・向上に関する研究 訪問看護における倫理的課題とその対応モデル作成に関する研究
研 究 目 的	訪問看護における倫理的課題を明らかにし、それに基づいた対応モデルの作成により、倫理的課題を迫られる状況における具体的対応方法の指針を示すことを目的とした
研 究 方 法	以下の3段階に分けて研究を行った 1. 東京都内の訪問看護ステーションの看護師への面接調査 2. 東京近県の訪問看護ステーションの訪問看護師への質問紙調査 3. 上記2つの結果に基づき、倫理的課題への対応モデルを作成した
結 果 及 び 考 察	以下の結果、成果、課題が示された 1. 面接調査により、訪問看護の現場での倫理的課題が明らかになった 1) 倫理的課題が4つに大別、2) 訪問看護における特徴的倫理的課題、3) 倫理的課題への看護師による対応、4) 倫理的課題への対応モデルに必要な要素 2. 訪問看護活動において、看護師は、しばしば倫理的課題に遭遇しており、ジレンマを抱いているものが多いことが示唆された 3. 基本モデル2つ、倫理的課題への対応モデル9つを作成した
研 究 助 成 金 名	平成11年度 厚生省老人保健事業推進費等補助金事業